



桐が丘だより

学校だより、7月号

筑波大学附属
桐が丘特別支援学校
校長 下山直人

校長 下山直人

ご挨拶

本校は、筑波大学の附属学校の一つで、「桐が丘」特別支援学校と言います。これから、地域のみなさまや交流校の友だちに、本校の様子をお知らせするために、この「桐が丘だより」を発行していきます。よろしくお願いします。



桐が丘は、手足が不自由な子供たちが通う学校です。小学部、中学部、高等部があって、全部で約100名の子供たちが学んでいます。子供たちは、東京都内はもちろんのこと、埼玉県や千葉県から通ってきます。ご近所の皆さんは、毎日、車いすや歩いて本校に通っている子供を見かけることでしょう。その中には、2時間かけて、満員電車を乗りついでくる子供もいます。また、スクールバスや自家用車で通う子供もいます。

桐が丘は、60年ほど前に誕生しました。校舎が古くなってきましたので、今、建て替えをしています。去年から工事を始め、一部ができましたので5月から使い始めました。暗く、雨漏りする古い校舎から、広く明るいイメージの校舎になりました。小学部の教室が移動し、中学部と高等部の生徒は一部の授業を新校舎で行っています。

桐が丘の子供たちは、いろいろなことにチャレンジしています。小学校3年生と4年生は、校内にある夏みかんを収穫して調べ学習を行い、校長の私に手紙で教えてくれました。中学生と高校生は、東京都のスポーツ大会に全員出場しました。電動車いすのスラローム走では、高度な操作技術を見せてくれました。中学部のある学級では、校内探検をしながらバリアフリーについて探求していました。そのほかにも漢字検定、数学検定、英語検定、パソコン関係の検定試験などにも積極的に挑戦しています。

桐が丘の子供たちは、自分たちを助ける新しい技術を身に付け、校内や交流校の友だちと学ぶとともに、全国や海外の仲間との交流を深めながら、チャレンジの幅を広げていきます。その様子をお知らせしていきます。

Ⅱ 期工事の様子 (2020年11月末完成予定)



今までありがとう旧校舎

仮囲いを行っている正面の平屋部分は、取りこわし工事が始まっています。

ガスや水道管の切り離し、内装の取り外しなどを行い完全に空洞になった後に、いよいよ本体の取りこわしが、始まるそうです。工事の音や振動などに、極力配慮していただきながら、職人のみなさんが丁寧に作業してくださっています。それでも近所の皆さんには、ご迷惑をおかけすることがあるかと思えます。心よりお詫び申し上げます。

校庭に積み上げられたコンクリートのがれきの山や、校舎に大きく開けられた穴を見つけて、中学部の生徒が左のようなコメントを書きました。

学校の教育活動から



本校HPは
こちら

新校舎のスタート！

校舎のかべは、筑波大学の
シンボルカラーと同じ色に
なりました。



元号が令和になった5月より、まずは、
小学部が新校舎に移転しました。

旧校舎同様、新校舎もゆっくりと時間
をかけてみんなの思い出の一つになって
いってくれるでしょう。

ここがすごいよ、新校舎！

中学部1年生が、「写真
と言葉」という国語の
授業の中で、新校舎の
魅力について写真に言葉
を添えて紹介しました。
(HPからの抜粋です)

ろうかが、ものすご〜く広い！



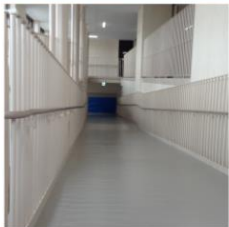
旧校舎の2倍ぐらい
広いです！
寝られるぐらいの
すごい広さです。

黒板がでかい！



ぼくより、でかい黒板！
スライドもします！

旧校舎より楽でつかれないスロープ



スロープの傾斜がゆるいの
で楽です。

でも、旧校舎より長くなり
ました。
(旧校舎にくらべて、楽かつ
らいかは、ひとそれぞれ感じ
方がちがうらしい)。

3Fからの見晴らしサイコー！



まわりに高い建物が少
ないので、3Fからの見
晴らしはサイコーです。
でも、旧校舎がよけい
に小さく、古く見えます
(ちょっとさみしい)

ホームページでは、中学生の視点から、新校舎の
みりよくを紹介してもらいました。広くなった
教室のことなど、桐が丘だよりでも、各学部の
教育活動と合わせて紹介していきます。